

# 山形県災害復旧支援エンジニア制度を発動

■平成26年7月9日～10日の豪雨により県内、特に置賜地方は多くの場所で被災した。翌11日南陽市より、技術センターに災害対応について技術支援の問い合わせがあり、センターは昨年に県と協定した「技術職員OBによる災害支援に関する協定」を発動し2名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し対応した。



## 【南陽市】

○問い合わせ・・・7月11日（金）17:00 南陽市より山形県災害復旧支援エンジニア制度についての問い合わせを受ける。

○要請依頼・・・7月12日（土）10:00 南陽市建設課より災害支援の要請依頼を正式に受け、県庁危機管理課へ報告。

### ◆活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）

12日午後、「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性及び当日活動可能な方を業務部長交え人選し役員の了解を得、佐藤正之様と渡辺耀一様に決定し、14日（月）11:00まで南陽市役所に来ていただくよう派遣依頼をおこなう。

### ◆活動状況②（市役所で被災状況確認とこれからの災害申請の流れについての助言・指導）-----南陽市建設課職員4名

14日11:00南陽市役所建設課内で災害復旧支援エンジニア（以下支援エンジニアとする）の佐藤様と渡辺様及びセンター地域支援課職員2名で被災報告が難しい箇所を中心に市役所職員より説明を受け（10箇所）、被災報告及び査定に関して注意しなければならない点などの技術的な指導と災害申請の流れについて説明をおこなう。

### ◆活動状況③（被災現地での助言・指導）

13:00より2班に分かれ現地へ移動し、被災状況を視察し被災延長の考え方・被災状況のスケッチ方法や復旧方法のやり方等を指導した。

☆第1班（佐藤正之支援エンジニア・佐藤喜芳地域支援監・市役所職員2名）

主に橋梁を中心に落橋2橋を含む4橋と河川災1箇所の計5箇所の被災箇所を確認に助言をおこなう

☆第2班（渡辺耀一支援エンジニア・瀧井英夫地域支援課長・市役所職員2名）

河川災箇所と道路災箇所の計5箇所の被災箇所を確認に助言をおこなう。

### ◆活動状況④（被災額の算定についての助言と二次災害防止のための応急工事の助言）

15日に、二次災害を防止するため落橋した2橋について橋桁撤去等の概算応急工事費を算出し市に提出した。



〔 災害復旧支援エンジニア制度；災害が発生した場合、県・市町村からの要請を受けて専門技術者が発注者の立場で助言・指導行う 〕